

小学校4年 「みんなと学ぶ」から始まる放送教育 ～自由進度学習につなげる番組活用～

（活用番組『よろしく！ファンファン』）

さいたま市立大宮南小学校 石川 秀治

【実践報告の概要】

GIGA 端末により、子供が自分の学びを計画して実行する自由進度学習が広がっている。教育番組の活用に目を向けると、部分視聴や個別視聴等、多様化している。自分の学習を進めていく時に、それは必要になるであろうが、まず一定の共通認識をもち、かつ課題意識をもって一人一人が自分なりの学習を進めていくことが大切だと考える。単元始めに教育番組を一斉視聴して「みんなと学ぶ」ことで、同じ土台に立つことに加え、自分だけでは思いつかなかった考えなどを知り、その後の自由進度学習に進めば、より質の高い学びになると考え、実践した。

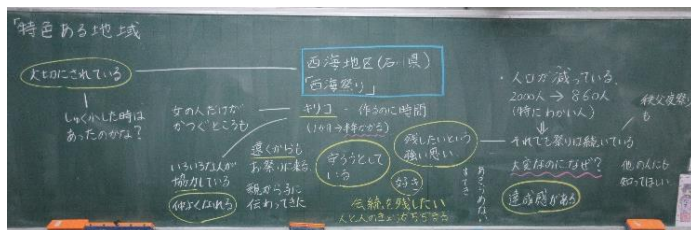
【取組の具体】

活用番組『よろしく！ファンファン』
4 学年社会科 小単元「蔵づくりが残る川越市」

単元計画

時	学習活動 内容
1	○県内の特色ある地域にどのような場所があるか話し合う ○さいたま市からの方位と位置を確認する ○それぞれの地域にはどのようなよさがありそうか話し合う
2	○『よろしく！ファンファン』「特色ある地域 ～伝統文化をいかした地域づくり」を視聴する ○わかったこと、考えたことを発表する ○学習問題を立てる 川越市では、なぜ今でも蔵づくりのまちなみを残しているのだろうか？
3	○学習の計画を立てる (1) 自分の考え（予想） (2) 調べる要素【共通】（ノートにまとめる） （川越のうっぴりかわり年表 地域の人たちの取り組み 国や市の取り組み これからのまちづくり） 【発展】（オクリンクでまとめる） ①インターネットで蔵づくりのまちなみを調べる →「蔵づくりのまち 川越」の宣伝をつくる ②他の地域では伝統をどのように生かしているか調べ まとめる（NHK for School クリップ動画を活用） ○学習計画を立てる
4	○計画に基づいて学習を進める
～	※グループで調べたい児童は、グループで相談してよい
7	※質問しながら進めたい児童は、座席を前にする
8	○学習のまとめ

番組を視聴した授業



視聴した番組では、石川県の西海祭りを取り上げている。番組を全て視聴した後、児童は西海祭りの特色を伝えたり、「大変なのになぜ続けているのだろう」という友達の疑問に、登場人物から関係付けた自分の考えを発言したりして、授業は進んだ。発言の連鎖によって、児童は祭りを残したいという人々の思いについて考えを深めていった。

番組視聴による自由進度学習への接続

学習の計画を立てる段階において、既習事項に加え、「西海地区では祭りをずっと大切に続けてきたから、川越も同じじゃないかな。」など、視聴してわかったことをもとにした発言が続き、調べたいという意欲を高め、「蔵づくりが残る川越」について、各自の追究に進んでいった。

【活用番組と実践者による番組分析】

活用番組『よろしく！ファンファン』

- 社会的な見方・考え方である「時間」「空間」「人」の3つに視点をあてて番組が構成されており、社会科の学び方を理解することができる。
- 主人公がそれぞれの視点をもって現場を取材しており、ポイントを意識して社会的事象を捉えられる。
- 番組の内容と、自分の知識や経験、考え方等を意味付けたり関係付けたりして認識を深められる。

【本実践における工夫点等】

みんなと学ぶからわかる…一斉視聴の大切さ

放送教育のよさである「わかりやすさ」「自分らしく学ぶことができる」等を生かして理解することに加え、みんなと学ぶから、新たなことに気付いたり、自分が考えたことと友達との考えが関連したりするを通し、「わかった！」を実感できるようにする。



番組は全て視聴する

教育番組は、子供がわかることを意図してつくられている構造体であり、番組視聴を学習の入り口として、一定の共通認識をもつことができる。扱われる事象は関連しており、どこに興味や関心をもつかは一人一人異なるが、視聴後に話し合うことによって、それらは意味のあるものとしてつながり、知識として定着していく。それを土台とし、学習を進めるようにする。

自由進度学習で個別に視聴し、自分の学びを進める

全員で番組を視聴し、「伝統」「人々の思い」等の視点をもって各自の学習を進め、発展としてクリップ動画を視聴する活動でも、ポイントを押さえて授業支援ソフト（オクリンク）でまとめられるようにする。

【本実践の成果と課題】

- 番組をすべて視聴し、みんなで学び合うことによって、自分だけでは気付かなかったことや考えていなかったことが補完でき、全員が土台となる知識を身に付けて学習を進めることができた。
- 自分の計画で進める学習であったが、番組で視聴したポイントを意識してまとめたため、大きく外れるようなことはなく、まとめることができた。
- △自由進度を意識した学習としては初であったためか、進め方に戸惑いを感じる児童もいた。今後も計画的に実施し、追究できる児童の育成を図りたい。